

# 魅力創造人

みりよくそうぞうにん

第7回

このページでは市内の施設や  
催しを支える方にインタビュー。  
働く姿や思いを通じて、  
札幌の魅力に迫ります。

さっぽろ産業振興財団  
札幌フィルムコミッション

さとう ありふみ  
**佐藤 有史**さん

イベント会社で財団と仕事を  
したことがきっかけで、5年前に  
転職。国内外の映像事業を誘致  
するチームを統括している。

## 映像を通して市民の皆さんと一緒に 札幌をより豊かな街にしていきたい

佐藤さんが勤めるフィルム  
コミッションでは、映画をは  
じめアニメやCMなど、さま  
ざまな映像を札幌で撮影し  
てもらうための誘致をしている。

「映像を活用して札幌の経  
済を活性化させることを常に  
考えています」と言う佐藤さ  
ん。例えば、映画の舞台とな  
った飲食店の限定メニューを  
ロケ地マップでPRした結果、  
店の売り上げにつながったと  
いう。また、海外作品では  
「モエレ沼公園や藻岩山で撮  
影された映画『Kitakita』が  
フィリピンで大ヒットしたこ  
とをきっかけに、現地の航空  
会社の方のロケ地視察を手配  
し、北海道への直行便就航に  
つながったのは大きな成功例  
ですね」と笑顔で振り返る。  
誘致に伴う国内外からの問  
い合わせや要望に対応する毎

日だが、撮影後の役割も欠か  
さない。「撮影は地域の方の  
理解と協力がなくてきませ  
ん。協力いただいた施設への  
撮影後の聞き取りや、マナー  
を守ってロケ地巡りをしても  
らうための広報なども大切な  
仕事です」と話す。

「すすきのが舞台の映画『探  
偵はB.A.R.にいる』がシリー  
ズ化できたのは、映画が好き、  
街を良くしたいという関係者  
の思いが大きいそうで、「そ  
うした方々と一緒に、作品づ  
くりを通して皆さんの暮らし  
を豊かにしたい。それが街へ  
の愛着を深め、札幌の古き良  
き街並みを守ることにもつな  
がると思います」と語る。  
「いつかハリウッド映画のよ  
うな大事業も誘致したいです  
ね」——大きな目標に向け、佐  
藤さんは今日も奔走している。

佐藤さんの職場がある産業振興センターの入り口では、市内で撮影された映画のポスターなどを展示中。佐藤さんが誘致に携わり、北海道大学や西区の住宅が舞台となったノンフィクション映画「こんな夜更けにバナナかよ」（平成30年12月公開）は数々の賞を受賞した。

### ボランティアエキストラを募集中

撮影で観光客や通行人役などのエキストラが必要な際に、登録された方を映像制作者に紹介しています。興味のある方はぜひご登録ください。

対象札幌近郊でのロケに参加できる方（18歳未満の方は保護者の承諾が必要）

申込ホームページの専用応募フォームから登録。インターネット環境がない方は電話か直接  
申込先・詳細札幌フィルムコミッション（白石区東札幌5の1）☎817-5711

札幌 ボランティアエキストラ 検索

### 市内で撮影された作品やロケ地を知りたい方は

#### 札幌フィルムコミッション ロケーションマップを配布中

主なロケ誘致・撮影支援作品や、おすすめのロケ地を紹介しています。鑑賞とは別の楽しみ方で、映画と札幌の魅力を感じてみませんか。

配布場所産業振興センター（白石区東札幌5の1）、大通情報ステーション（地下鉄南北線大通駅コンコース5番出口横）など

